

2024年5月25日（土）

老球の細道800号

ウエルカム！上杉翔コーチ

会津バスケットボール協会 室井 富仁

昨夜寝る前に B リーグチームの来シーズンに向けてのコーチ、選手の契約更改についてチェックをした。プレイオフに残らなかったチームについては大きな移動があることが予想できたので、特に会津出身の上杉翔氏（レバンガ北海道）については注目していた。

案の定、レバンガ北海道のホームページに上杉氏「退団」のお知らせ。もしかして PART2 と思い、福島ファイヤーボンズをチェックしたら「アシスタントコーチ契約締結」と掲載されていた。かねてから上杉氏には福島のプロチームで選手あるいはコーチとして活躍することを望んでいたのだから「サプライズ！！」。興奮して眠れずアルコールに頼った。

上杉君は小学校時代ミニバスケ経験はなしで、水泳、サッカー、柔道など色々なスポーツを経験している。バスケットは中学校から始めたが、これといった競技成績はなかった。中学3年時に身長が180cmになり、当時坂下高校で行われていた「バスケットボールトップアスリート講座」講習会に参加して来た。それまで彼の存在を知らなかった私は、サウスポーの柔らかいシュートフォームに驚嘆した。「こんな選手が会津にいたんだ！！」。

2005年、幸運にも上杉君が坂下高校に入学してくれたおかげで、部員がいなくて大会にも出場できなかったチームが大会出場可能となった。彼の成長に比例して坂下高校のチーム力もメキメキ向上することができた。

彼は高校2、3年と福島県少年選抜チームの一員として活躍し、その存在が全国に知れ渡るようになった。ある時、福島商業高校（当時も現在も）の水野先生から拓殖大学との練習試合に招待され、そこでの活躍が拓殖大学ヘッドコーチの池内氏の目に留まり、拓殖大学へのオファーを受けることになった。池内氏が坂下高校に来校した時、感激のせいか上杉君は両手でダンクシュートができるようになった。

拓殖大学に進学してからは、池内氏の指導で持ち前の潜在能力が開花した。4年時にはキャプテンとしてインカレ準優勝を果たし、「優秀選手」として表彰された。さらにその年のインカレプログラムの表紙に男子5人、女子5人の注目選手の写真が掲載され、上杉君はその中の1人としてアップされた。

大学卒業後の経歴は新聞やホームページなどに掲載されているが、B リーグ選手、ケガして引退後は B リーグのアシスタントコーチとして各チームで活躍してきた。そして来シーズンからはファイヤーボンズで、同じ福島県出身の栗原氏とコンビを組み、低迷するボンズをどのように立て直すか注目される場所である。B リーグは外国人コーチを雇うチームが多いが、ボンズは日本人コーチスタッフ、しかも地元出身者ということで県内の注目度は一層高まることだろう。特に会津地区の選手、指導者たちは上杉氏の活躍に接して、将来の B リーグ選手、コーチへのモチベーションが高まれば幸いである。

最後に、高校時代から今まで彼の試合を全国追っかけていたご両親に敬意を表す。